

国営新津郷排水土地改良事業の概要 (施設機能保全総合対策)

大秋排水機場



えだまめ



アザレア



覚路津排水機場

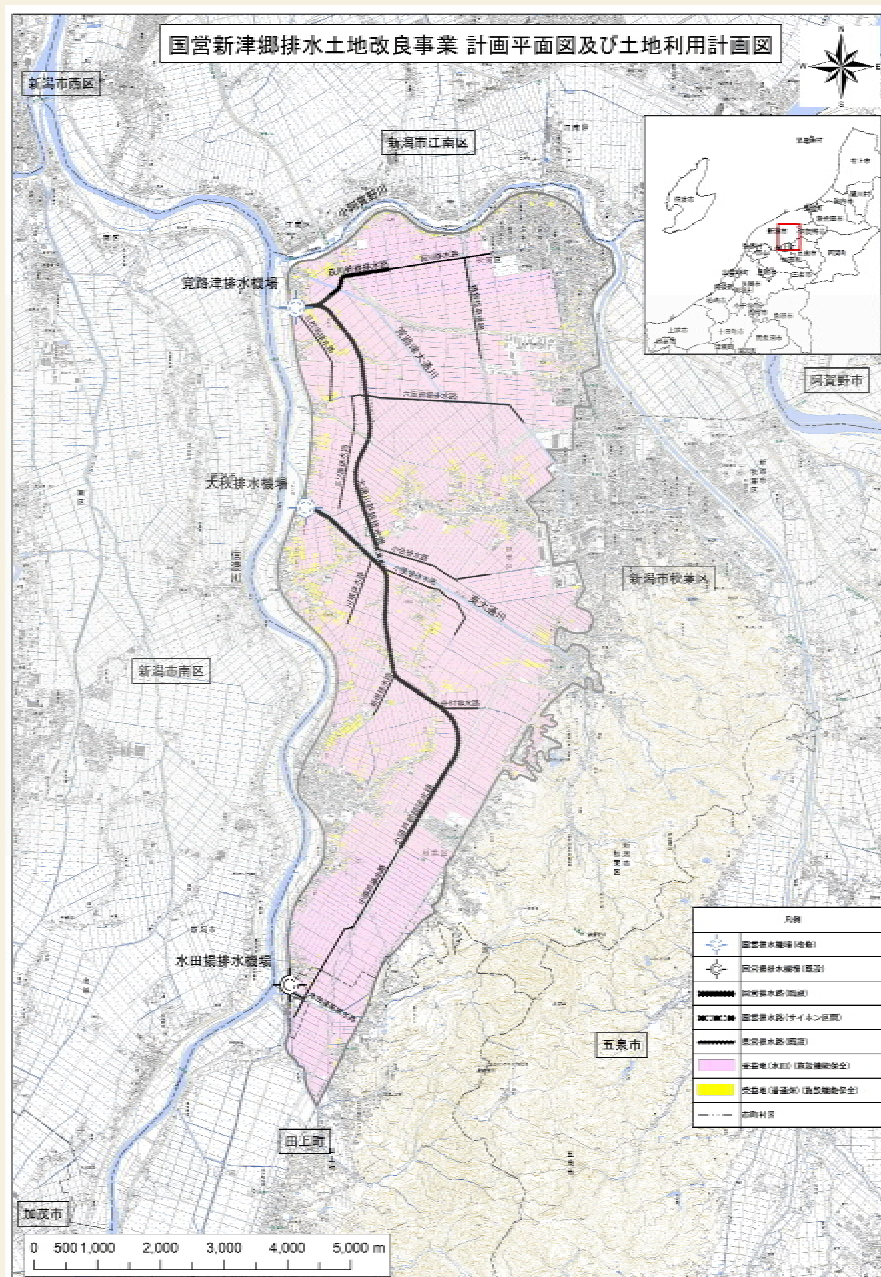
農林水産省 北陸農政局 新津郷用水農業水利事業所

令和6年7月

1. 事業の概要

本事業は、新潟県の北部に位置する新潟市秋葉区及び南蒲原郡田上町の2,970haに及ぶ農業地帯において、経年的な施設の劣化の進行により整備を要する大秋排水機場と覚路津排水機場を対象として、施設機能を保全するための整備と耐震化のための整備を一体的に行うことにより、排水機能の維持及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することを目的としています。

2. 計画平面図・受益面積



受益面積 (令和4年4月時点) (ha)	地 目	新潟市	田上町	合 計
	田	2,706	110	2,816
	畑	152	2	154
	計	2,858	112	2,970

3. 事業の必要性

本地区の基幹的な農業水利施設である大秋排水機場及び覚路津排水機場は、国営新津郷土地改良事業(昭和47年度～平成元年度)により造成されましたが、経年的な施設の劣化により排水機能の維持に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。また、大規模地震が発生し施設が損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがあります。

4. 排水機場(大秋・覚路津)の概要



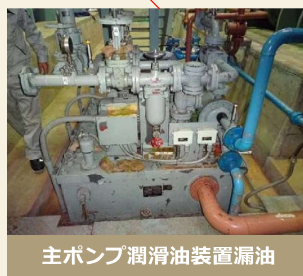
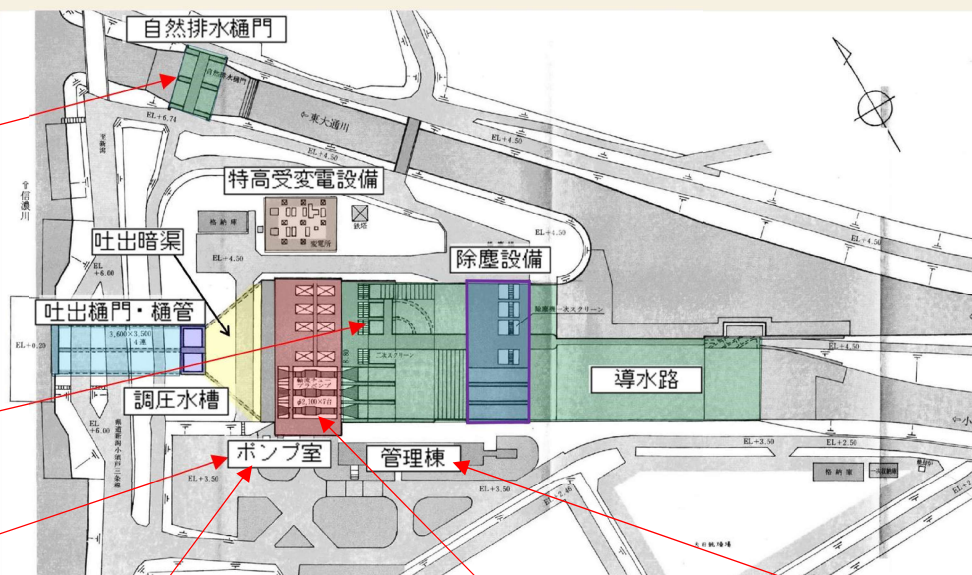
機場名	排水量 (m³/s)	全揚程 (m)	排水機		台数 (うち可動翼)	原動機	
			形式	口径(mm)		形式	動力(kw)
大秋排水機場 (1984年(S59年)完成)	30.0	3.0	横軸円筒形軸流	2,100	3(2)	電動機	400～540
	39.0	5.3	横軸円筒形軸流	2,100	4(2)	電動機	660～670
覚路津排水機場 (1984年(S59年)完成)	49.0	5.7	横軸円筒形軸流	2,200	4(2)	電動機	870

5. 整備水準

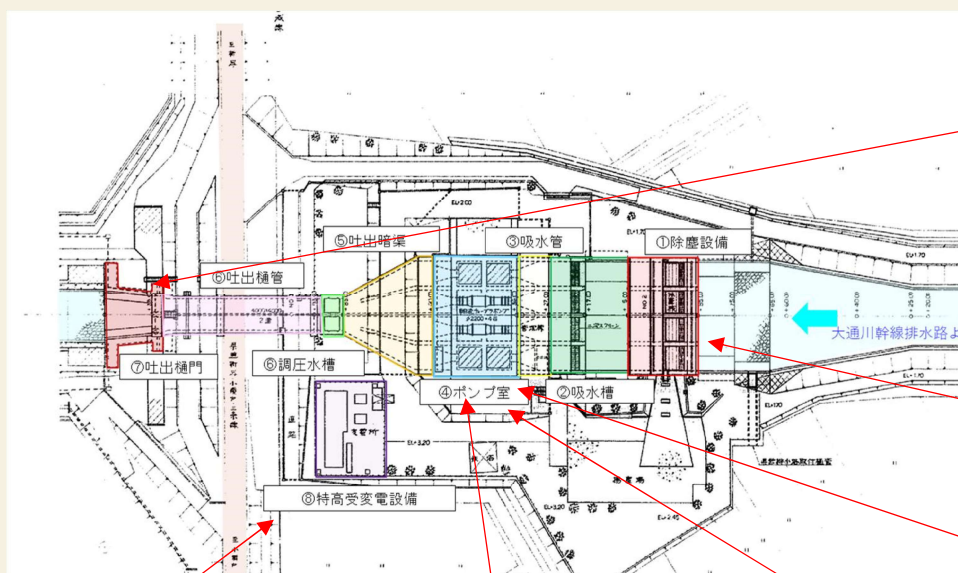
- ・ 1/15確率 3日連続 224.2mm
- ・ 中央山型(1日目46.6mm,2日目141.6mm,3日目36.0mm)
- ・ 許容湛水：30cm以上24時間以内

6. 老朽化の状況

<大秋排水機場>



<覚路津排水機場>

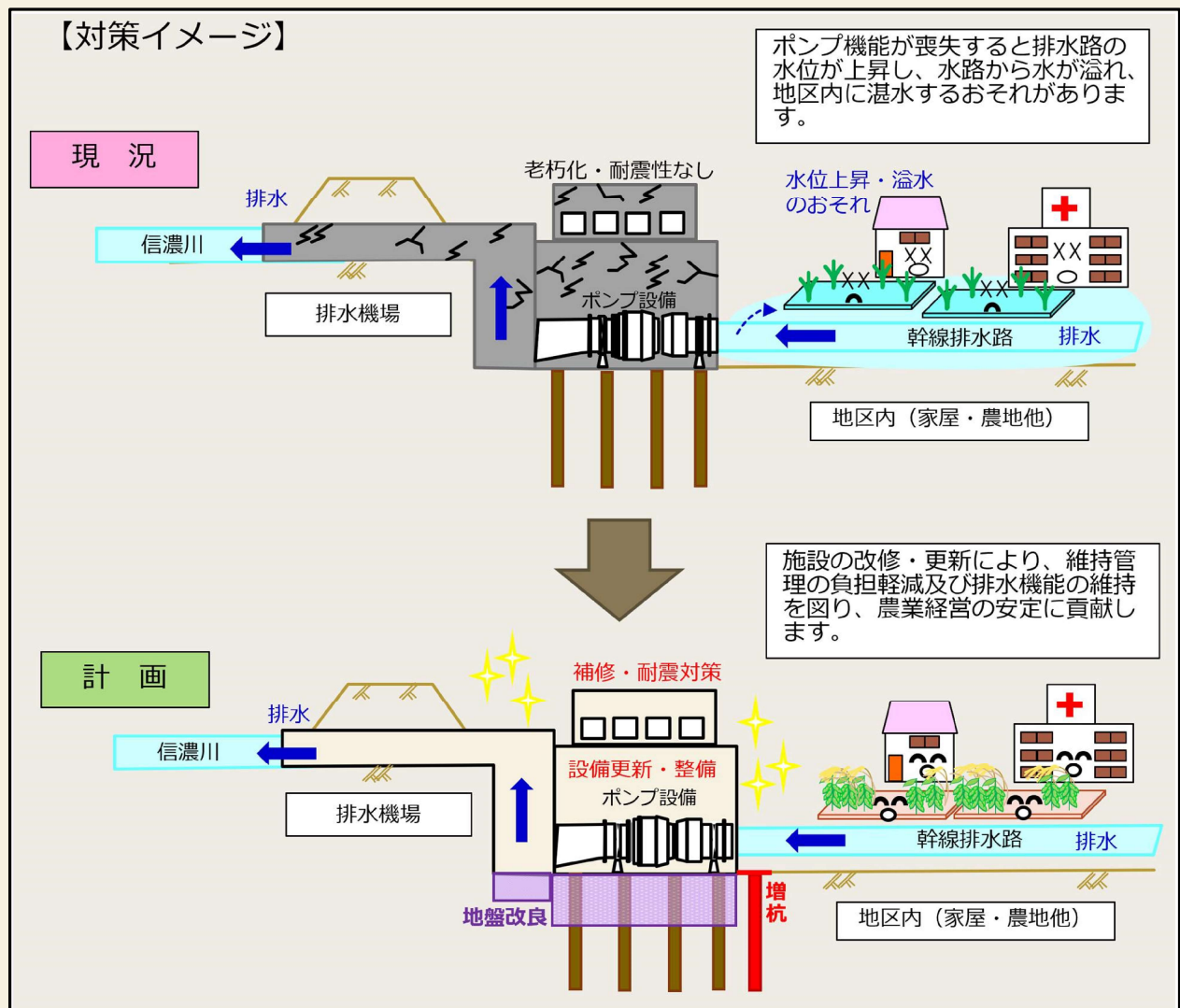


7. 主要工事内容

本事業では、経年的な施設の劣化の進行により整備を要する大秋排水機場及び覚路津排水機場を対象として施設の機能を保全するための整備と、耐震化のための整備を一体的に行います。

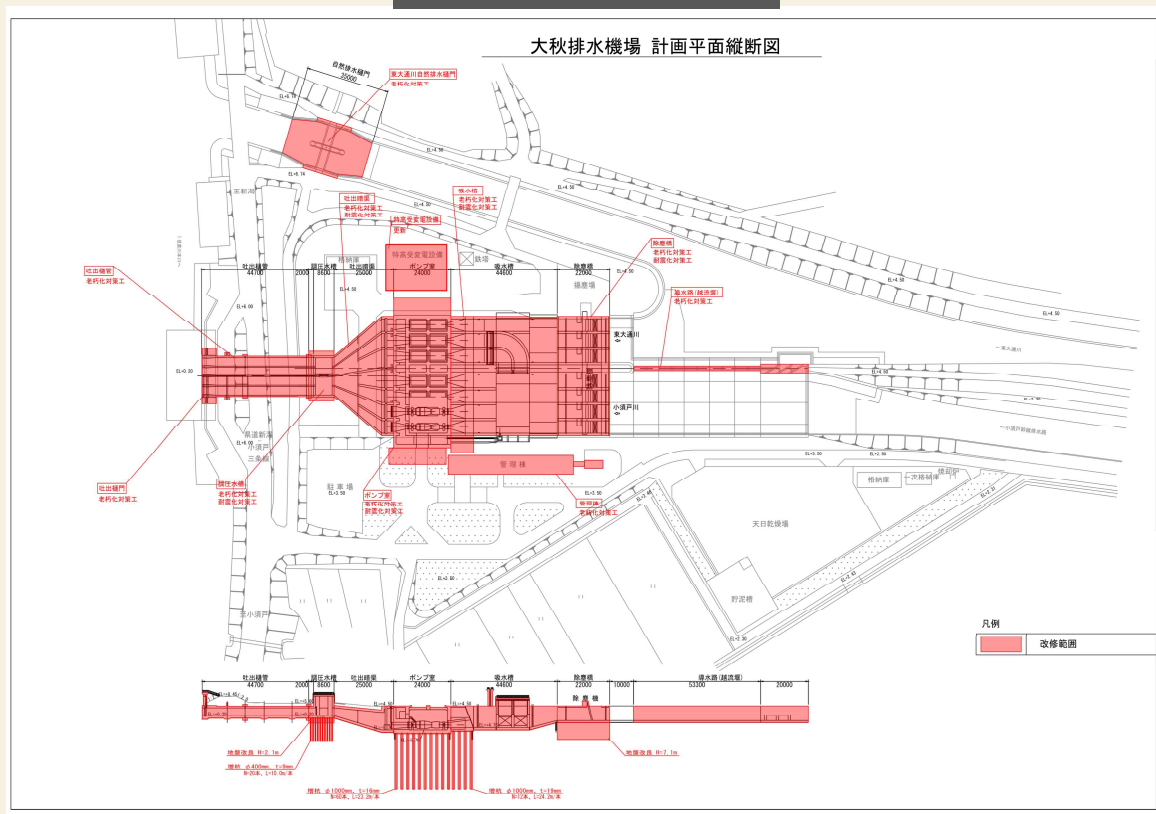
施設名	施工区分	工事内容	保全対策	耐震対策
大秋排水機場 ・ 覚路津排水機場	更新	・ポンプ設備（補機類、電気設備） ・特別高圧受変電設備 ・監視制御設備	○ － ○	－ ○ －
	改修	・ポンプ設備（主ポンプ分解整備） ・ゲート設備 ・除塵設備 ・建屋（耐震補強含む） ・土木構造物（耐震補強含む）	○ ○ ○ ○ ○	－ － － ○ ○

【対策イメージ】

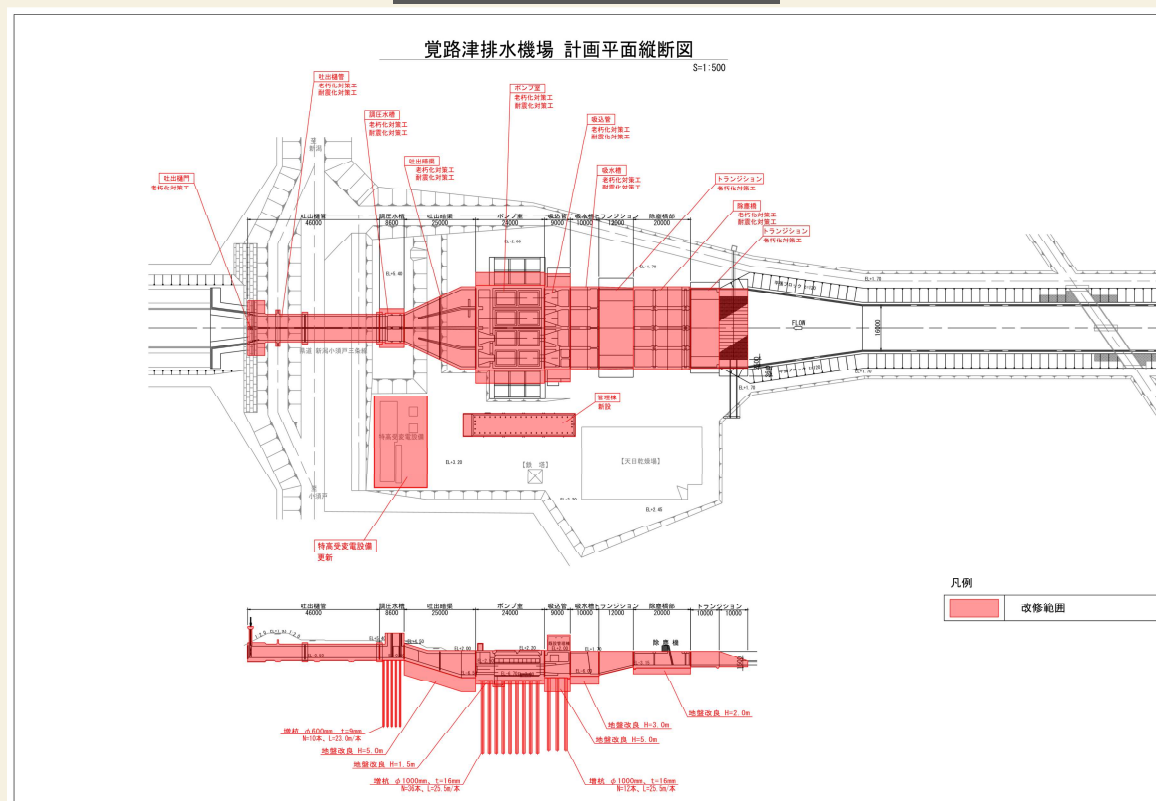


8. 平面・縦断面図

＜大秋排水機場＞



＜覚路津排水機場＞



9. 事業費と予定工期

総事業費（令和4年度単価）	予 定 工 期
3 1 5 億円	令和6年度～令和23年度 (令和21年度～令和23年度 施設機能監視制度期間を含む)

- ・事業費は、工事の内容の変更、物価変動によって将来変動することがあります。
- ・施設機能監視制度とは、本国営土地改良事業により造成された農業用排水施設について、工事実施後の不測の事態に対処して、本事業において工事等を実施することにより適切な維持管理を行うことを目的とした制度です。

10. 事業費の負担割合

負担区分	国	県	市町	農家
保全対策分	200/300 (66.6%)	58/300 (19.4%)	27/300 (9.0%)	15/300 (5.0%)
耐震対策分	200/300 (66.6%)	90/300 (30.0%)	10/300 (3.4%)	—

【参 考(機場区分)】

【単位:百万円】

区 分	大秋排水機場	覚路津排水機場	計
保全対策分	7,399	4,456	11,855
耐震対策分	10,957	8,688	19,645
計	18,356	13,144	31,500

<参考> 工事費以外の測量試験費、用地補償費等は機場の工事費比率により按分して計上。
本事業費には国100%負担分（諸費等）の費用も含まれます。

11. 営 農

本地区の営農は、水稻を中心に、大豆、野菜、花き等を組み合わせた農業経営が展開されており、当該事業で地域の排水機能を維持するとともに、令和2年度に着工した国営新津郷用水地区の水利システム再編により、えだまめ、たまねぎ、アザレア等の園芸作物の生産を拡大し、産地収益力の向上を図ることを目標としています。

○地域農業の特徴

- ・地区内で栽培される「えだまめ」は「さつき茶豆」、「さといも」は「里のいもこ」を商標登録し、栽培指導や栽培管理が徹底され、良品の安定生産に努めることにより、高付加価値化に取り組まれています。
- ・花き・球根・花木の伝統産地としてのブランド地位を確立し、特にアザレアは本地区を中心に栽培され、県内屈指の産地となっています。



えだまめ



さといも



アザレア

(写真提供：新潟県)

12. 環境との調和への配慮

本地区における環境との調和への配慮においては、生態系への配慮と自然田園景観を損なわないように配慮し、これらを将来にわたって適切に維持・保全していくため、整備に合わせた生態系配慮や、歴史的に地域の用水・排水を担ってきた水利施設の整備に合わせ良好な景観形成を行います。

【生態系への配慮】

- 施設整備においては、動植物及び魚類等の生物の生育・生息環境への影響を最小限に抑えるため、工事の実施に当たっては、騒音振動対策や仮設用地の設置箇所等に配慮します。

【景観への配慮】

- 施設整備においては、排水機場等の農業施設が田園や集落とともに形成してきた農村景観の一部であることを踏まえ、周辺景観との調和に配慮し良好な景観形成を行います。



覚路津排水機場建屋現況



大秋排水機場建屋現況